

永野小学校・学校だより(1月)

更に子どもたちの笑顔あふれる学校に

校長 志賀 光雄

平成19年(2007年)の幕が開きました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年のご事も交えながら、冬休み前後の子どもたちの活躍の様子を紹介したいと思います。

12月16日(土)、横浜文化体育館において横浜市小学校体育実技発表会が行われました。この発表会は横浜市の体育学習の発表会として大変歴史と伝統があるもので、今回で46回を迎えています。

この発表会に本校の5年1組の子どもたちがこの春から体力を高める運動として取り組んできたエアロビクスを発表しました。発表会当日は大勢の保護者や、同じ5年生の子たちの応援を受けながら、フロア一っぱいに広がり、表情も豊かに、伸び伸びと自分たちの運動を発表することができました。

曲に合わせての会場からの手拍子と、発表後の大きな拍手がとても印象的でした。応援の5年生が「先生、永野のときが会場の拍手が一番多かったよ」と言った言葉も忘れられません。

マーチングの練習に取り組んでいる子どもたちは、12月10日(土)、下永谷地域ケアプラザでの催しに招かれ、冬をテーマにした童謡や、今年度の大会曲などを中心にしたすばらしい演奏を行い、地域の方々に聞いていただくことができました。

その後は、1月6日(土)の横浜文化体育館での他校や他団体との交流会に備え、冬休みの間も自主練習や全体での練習に取り組みました。特に1月4日からは、お弁当持ちで終日練習に取り組んでいました。その成果が表れ、交流会当日はすてきなドリル演奏ができました。

1月7日(日)に野庭中学校を会場にして行われた港南区健康マラソン大会には、永野小から特別陸上クラブで活動している子たちや地域の野球部、バレーボール部の子たちなど、30名以上が参加しました。6年生、5年生、4年生とそれぞれ時間差をつけて、男女別にコースに飛び出して行った子どもたちが、真っ赤なほっぺをして、汗をかきながらゴールに戻ってくる度に応援の

大きな声が響きました。また、親子マラソンで、親子で手をつないでゴールする姿もとても温かいものでした。上位入賞の子どもたちもいて、すばらしい結果を残しましたが、何よりもすばらしいのは、苦しくてもゴールまでがんばった子どもたちの姿だと思います。

このような発表の場でなくとも、この冬休み、自分で、また家族で相談をしながら、目当てを立て、様々なことに一生懸命取り組んだ子どもたちも多いと思います。

それぞれの場でがんばった子どもたち、みんなに大きな拍手を送りたいと思います。

1年前の平成18年1月の学校だよりでは、その前年に相次いで引き起こされた、幼い子どもたちを犠牲にした事件を受け、学校と地域が一体となった子どもたちの安全確保というテーマを中心に書かせていただきました。その後の1年間、保護者・地域の皆様には子どもたちへの声掛けや登下校時の見守りなどの面で大変ご協力いただき、子どもたちの安全を守る地域環境が充実しつつあることに厚く感謝申し上げます。

校内でもPTAの呼びかけにより、保護者の皆さんによる「パトロール隊」が組織され、決まった時刻に校内を巡回してくださるなど、子どもたちにとって安全な環境づくりが進められました。

また、今年度の4月号には、「子どもたちの笑顔があふれる学校に」というテーマで書かせていただきました。

平成18年度は、全国的に「いじめ」事件が大きな社会問題となりました。本校は、子どもたち同士が豊かな人間関係で互いに笑顔でつながり合えるよう力を入れています。今後も、子どもたちの間に「いじめ」につながりそうな言動がないか、常に職員全体で目を配りながら子どもたちの指導と支援にあたっております。

年度末まであと残すところ3か月です。この3か月間、子どもたちの笑顔がいっぱいあふれる永野小学校となるとともに、一人ひとりが希望と期待をもって進学・進級できるよう、職員一同力を尽くしたいと考えております。

ご協力よろしくお願い申し上げます。